

運営推進会議録

記録者(職種) 高橋美紀子 心春管理者

開催日 平成 31 年 3月 26日 開催場所 ゆーとりあ内会議室

開催時間 10:00～11:00

開催回数 2回

	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名	所属(職種)	氏名
会議出席者	保険者	秋本 有子	地域代表	小笠原 憲昭	利用者家族代表	柳館 由紀江
	管理者	高橋 美紀子	デイスタッフ	中村 茉耶	通所介護事業班長	日景 勉
検討内容など	1.心春の現状について					
	4月は一日平均6.4人でしたが、新規利用者が増えた事や利用回数も増えた利用者もいて一年平均7.6人でした。新規の利用者に関しては慣れない場所や見慣れない人に戸惑い、帰宅願望や暴言、暴力等が見られたりしましたが、ケアマネや家族と連携を取り必要に応じ受診も勧め今は落ち着いて過ごす事が出来ている。					
	2. 10月からの活動・運営状況報告					
	・10月は砂子沢ダムに出掛け紅葉を楽しんだり、ちょっと遠出をして十和田湖までドライブしたりと利用者にとっても喜ばれた。又、室内では季節の行事を楽しんだ。12月にはクリスマス会で楽しみ、お正月は福笑いで初笑いをしました。3月にはひな祭り会で桜餅を食べ歌ったりと季節を感じ楽しんでもらえるよう工夫した。					
3. 事故・ヒヤリの報告						
事故1件、アクシデント1件、ヒヤリ6件。今回は爪切り介助での事故やヒヤリが2件、薬に関するアクシデントやヒヤリがあり、ちょっとした配慮や気付き確認で防げた事ばかりでした。今後大きな事故に繋がらないようミーティング時にスタッフ間でしっかり検証、確認し再発防止に努めたい						

3.今後の取り組みについて

* 地域との関わり

・10月に家事を想定し上小坂会館まで避難訓練を行った。近隣の地域住民3名に協力してもらい、歩ける利用者につき添い不安の無いよう声を掛けてくれたりとスムーズに避難誘導する事が出来た。日頃の地域住民との関わりや繋がりの大切さを改めて確認する事が出来た。11月には町内の「だまっこ会」に心春スタッフ4人参加し地域の方々と交流する事が出来た。なかなか町内の行事等に参加出来ないが機会を見つけ地域と関わっていきたい。

・これからの季節外に出る機会も増え、散歩したり東屋に出てお茶やおやつを食べたり時には歌ったりと活動的になる。又、畑作りは楽しみの一つとして、スタッフや利用者の負担にならない程度に取り組んでいきたい。

引き続き地域の方々の温かいご理解と見守りをお願いしたい。

質疑・応答

・小笠原さん～ヒヤリで利用者がドングリを食べた件は、昔は皆食べていたからその時の記憶が蘇ったのではないか。

・上小坂会館前で行っていた「青空市場」は高齢化に伴い廃業となった。

・心春で育てた野菜をザル等に入れ心春の前に置き地域の方々に無償で提供してはどうか。

・今の所町内からは心春に対しての意見や要望は無いが何かあった際には随時声を聞く事とする。

・町内に一人暮らしの方が居て話が噛み合わなくなっている。一日に何度も子供へ電話をし同じ事を繰り返している状態。

身体に問題なく一人暮らしを続けて入れる状態。深夜まで読書をしたりしている。心春を利用出来ないか。

(心春)～「青空市場」は散歩コースにもなっていて利用者も楽しみにしていたので、とても残念。

心春で採れた野菜を無償提供してはどうかに関しては、今後検討していきたい。

(秋本さん)～一人暮らしの方については、一人での暮らしに特に問題は無く一人で買い物もされている方なので介護保険適用は難しいと思われる。

検討内容等

	<p>・柳館さん～5月1日・2日のデイ休業について、来年度以降もあるのか。3施設合同ではなく日にちをずらして他の施設を利用したりする事は出来るのか。</p> <p>(班長)～今後に関してははっきりとは返答出来ない。重要事項を確認しながら、意見として承りたい。</p> <p>・小笠原さん～柳館さん宅脇の町道拡張については、少しづつ話は進んでいるが本格的な工事には5年くらいかかりそうだ。</p> <p>(心春)～道が狭いので今後も十分気を付けて送迎したい。</p>
<p>結論</p>	<p>ヒヤリが大きな事故に繋がらないよう、今後も気を引き締めて支援に努める。今後も地域とうまく繋がりながら、積極的に地域交流し地域の方達に心春を知ってもらい理解してもらえるよう努力していく。避難訓練では地域の方達の協力を仰ぎたい。</p>
<p>残された課題</p>	<p>心春の利用者と地域の方達と交流する場を設けて行きたい。地域の方や他の方々から情報を募りながら利用者確保に努めていきたい。</p> <p>(次回開催時期)令和元年9月予定</p>